

ウンシュウミカンの隔年結果是正のための

早期摘蕾と省力的な水噴射ノズルの効果

利用対象：カンキツ栽培

温州ミカンの隔年結果を効率的に是正し、摘蕾適期の延長と作業の省力化を図るためには、早期摘蕾（発芽間もない蕾が小さな頃）が効果的であることを明らかにするとともに、水噴射ノズルを使った省力的な作業方法を開発しました。

蕾の生育状況と適した摘蕾処理方法

適した処理方法	水噴射ノズル摘蕾		手作業摘蕾	
月 日	3/31	4/6	4/15	4/23
発芽期から	1日後	7日後	16日後	24日後
蕾の生育状況				
	蕾横径1.2mm	蕾横径2.3mm	蕾横径2.9mm	蕾横径5.0mm

水噴射ノズルを使った作業



Y社製の特別仕様水噴射ノズル。ポンプ圧力は30kg/cm²。・噴出水量43.8ml/秒

早期摘蕾の効果と作業時間

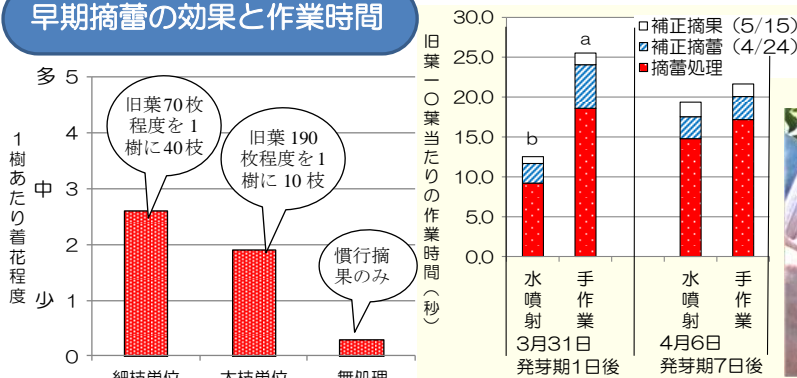


図 1 枝別早期摘蕾処理による翌年の着花程度（左）と摘蕾作業時間の比較（右）

- 発芽間もない時期の摘蕾には高い隔年結果是正効果がみられます。
- 発芽期～2週間後までは水噴射ノズルの利用が省力的で、それ以降は手作業の方が効率的です。
- 摘蕾作業は時間がかかりますが、処理適期が広がり発芽期から開花期まで摘蕾が実施できます。

留意点

- 早期摘蕾は、旧葉70枚程度の細い側枝単位で旧葉10,000枚程度の成木で40ヶ所程度処理すると良いでしょう。
- 摘蕾用の水噴射ノズル（Y社製）は約4,000円で購入できます。
- 水噴射時は水が手に当たったり、体が濡れるため、雨合羽、手袋を着用すると良いでしょう。

お問い合わせ先	紀南果樹研究室	須崎徳高、湊 英也	電話 05979-2-0008
	中央農業改良普及センター	西川 豊	電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		